

Tottori Institute of Invention and Innovation



# Chizai Tottori

知財とっとり

2020年10月号

vol.115



撮影：八頭郡八頭町  
鳥取県発明協会 伊藤

発行：鳥取県知的所有権センター

〒689-1112 鳥取市若葉台南7-5-1

■一般社団法人鳥取県発明協会

TEL：0857-52-6728

FAX：0857-52-6674

■公益財団法人鳥取県産業振興機構

TEL:0857-52-6722

FAX:0857-52-6674

# 目次

- 1 「INPIT鳥取県知財総合支援窓口」相談会のお知らせ（令和2年11月）
- 2 **企業PR** 株式会社KENZEN
- 3 **開催報告** 色が変化するステンドグラス！？  
偏光アートを作ろう&空気と光のサイエンスショー
- お知らせ** 「第62回鳥取県発明くふう展」  
「第20回鳥取県未来の科学の夢絵画展」
- 4 **企業連携出前授業** 第12回 甲陽ケミカル(株)／米子市立東山中学校
- 5 **企業連携出前授業** 第13回 (有)米村木工／鳥取市立宝木小学校
- 6 **企業連携出前授業** 第14回 (株)コロンプス／米子市立尚徳中学校
- 7 **企業連携出前授業** 第15回 (株)大上建築／境港市立第三中学校
- 8 **企業連携出前授業** 第16回 (株)アサヒメッキ／岩美町立岩美西小学校
- 9 知財Q&A テレワーク時における秘密情報管理のポイント
- 10-11 鳥取県知的所有権センター担当者より
- 12 書籍のお知らせ
- 13 鳥取県特許関係情報（令和2年9月）

## 鳥取県知的所有権センター ポータルサイト



<http://tottorichizai.com/>

とっとりちざい

検索

## INPIT 鳥取県知財総合支援窓口



[http://chizai-portal.inpit.go.jp/  
madoguchi/tottori/](http://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/tottori/)

鳥取県知財総合

検索

## 鳥取県発明協会



<https://tottori-hatsumei.or.jp/>

とっとりはつめい

検索

# 「INPIT 鳥取県知財総合支援窓口」相談会のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月の相談会は下記の通り、変更とさせていただきます。ご了承ください。

## 【WEB会議方式（TV会議）で開催】

- 10/16（金）田中弁理士 米子市立図書館

今後の状況によっては、11月の相談会も、WEB会議方式（TV会議）で開催や中止となる場合がございます。変更があった場合は、随時、INPIT 鳥取県知財総合支援窓口のHPにてお知らせいたします。

## 「INPIT 鳥取県知財総合支援窓口」開催時間 13:00～16:00

◆弁理士駐在日 ※各図書館ではよろず支援拠点「ビジネス情報相談会」を同日開催しております。

月日	相談担当	場 所（予約・問い合わせ先電話）	会場	時期
11月10日(火)	田中弁理士	鳥取県産業振興機構 西部センター (TEL:0859-36-8300)	2階 会議室	第1火曜日
11月11日(水)	中西弁理士	倉吉市立図書館 (TEL:0858-47-1183)	2階 情報交流室	第1水曜日
11月12日(木)	黒住弁理士	鳥取県産業振興機構 本部 (TEL:0857-52-5894)	1階 相談室	第2木曜日
11月17日(火)	楠屋弁理士	鳥取県立図書館 (TEL:0857-26-8155)	2階三二研修室	第3火曜日
11月20日(金)	田中弁理士	米子市立図書館 (TEL:0859-22-2612)	2階 研修室4	第3金曜日
11月26日(木)	中西弁理士	鳥取県産業振興機構 本部 (TEL:0857-52-5894)	1階 相談室	第4木曜日

◆弁護士駐在日

月日	相談担当	場 所（予約・問い合わせ先電話）	会場	時期
11月30日(月) (11/30…11/23から変更)	上田弁護士	鳥取県産業振興機構 本部 (TEL:0857-52-5894)	1階 相談室	5,7,9,11,1,3月の 第4月曜日

※西部センターでは  
4,6,8,10,12,2月開催

「商工会議所での特許等無料相談会」 ※ご予約・お問い合わせは、各会場にご連絡ください。

月日	相談担当	場 所（予約・問い合わせ先電話）	時期
11月10日(火)	知財コーディネーター	倉吉商工会議所 (TEL:0858-22-2191)	第2火曜日
11月11日(水)	知財コーディネーター	境港商工会議所 (TEL:0859-44-1111)	第2水曜日
11月18日(水)	知財コーディネーター	米子商工会議所 (TEL:0859-22-5131)	第3水曜日

※日程が変更になる場合がありますので、電話及びE-mailにてご確認ください。

INPIT鳥取県知財総合支援窓口サイト (<http://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/tottori/>) では、予約状況の確認ができます。

### 【独自開催】

鳥取商工会議所 中小企業相談所 (TEL:0857-32-8005)	特許相談会	毎月第3火曜日(10:30～16:30)
------------------------------------	-------	----------------------

お申し込み連絡先 【INPIT 鳥取県知財総合支援窓口】

☎ TEL 東部窓口:0857-52-5894 西部窓口:0859-36-8300

✉ E-mail torimado@toriton.or.jp

# 株式会社KENZEN

安全性・効率・利益アップ — 楽サポール® —



会社外観



安全研修に参加

### 社長よりメッセージ

KENZENは鳥取に根差した土木工  
 事の専門家を目指して、毎日頑張っ  
 ています。起業して7年目と若い会社  
 ではありますが、様々な現場で経験  
 を積んできた技術者が揃っています。  
 私が仕事をするうえで大切にしてい  
 ることは現場の意見を聞くことです。  
 現場のアイデアから出来た楽サ  
 ポールだからこそ自信を持ってお勧  
 めできます。  
 楽しく仕事ができるようにお役立  
 ていただけたらうれしいです。



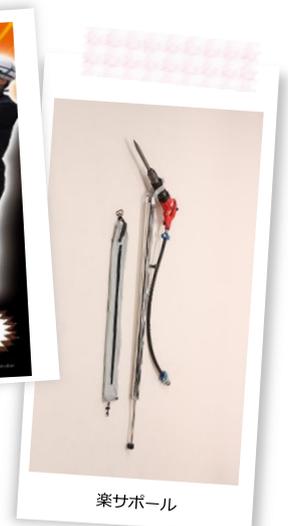
### わが社の自慢

楽サポールは現場でのアイデ  
 アから生まれました。  
 商品の開発は大変でしたが、  
 沢山の皆様のご協力のもとに完  
 成することが出来ました。  
 工具をセットしていただくだ  
 けで重さからの解放、作業効率  
 アップと会社も作業員もいい事  
 だらけです。  
 ぜひ、ご体感下さい！

企業名	株式会社KENZEN
代表者	代表取締役 大谷 賢輔
所在地	〒680-0864 鳥取県鳥取市吉成2丁目16-3
電話	0857-30-6327
FAX	0857-30-6328
URL	<a href="http://kenzen.tottori.jp/">http://kenzen.tottori.jp/</a>
業種	土木工事業
業務内容 特色	土木・とび土工・舗装・水道施設・解体 楽サポール開発



コンクリートの補修・はつり工事  
解体工事に楽サポール！！



楽サポール

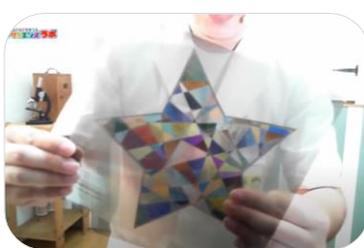
## 色が変化するステンドグラス！？ 偏光アートを作ろう＆空気と光のサイエンスショー

令和2年度鳥取県・鳥取県発明協会主催 啓発イベント「色が変化するステンドグラス！？偏光アートを作ろう＆空気と光のサイエンスショー」を9月21日（月・祝日）に開催いたしました。

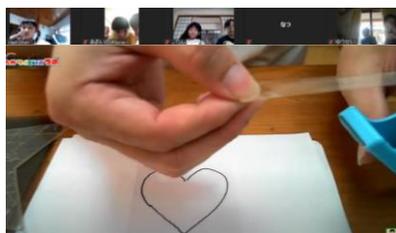
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での開催ではなく、ZoomとYouTube Liveを利用したオンラインでの開催となりました。



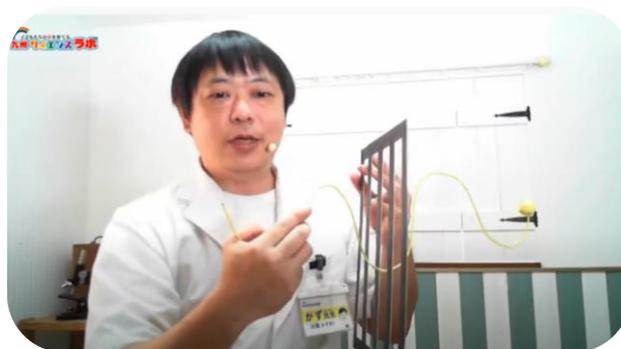
まずはサイエンスショーからスタート！  
空気の実験では大人気の空気砲を見せて  
くださいました。



つぎはお楽しみの実験工作！  
偏光板を使用して、色が変わる不思議なステンドグラスを作ります。  
偏光板はデジタル時計などの画面に使用されています。



かず先生に教えてもらいながら不  
思議なステンドグラスを作ってい  
きます。



最後は、色が変わっ  
て見える光のしくみ  
を、模型を使いなが  
ら分かりやすく説明  
していただきました。

### ■ アンケートより感想抜粋 ■

- ・ 分かりやすくとても興味をもてました。光について、もっと教えてもらいたいと思いました。親子で楽しめて良かったです。
- ・ 偏光板の実験をした時、とてもきれいだった。
- ・ とても楽しかったようです。完成品を嬉しそうにみせてくれました。また機会があったら参加したいです。

かず先生、ご参加いただいたみなさま、関係者のみなさま、ありがとうございました！

## 「第62回鳥取県発明くふう展」及び「第20回鳥取県未来の科学の夢絵画展」の表彰式中止、展示方法変更について

令和2年12月5日（土）に鳥取市文化センターにて開催予定にしておりました表彰式ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止させていただくこととなりました。

また、令和2年12月5日（土）、6日（日）に同会場で全応募作品を展示する予定でしたが、密を避けるため、展示会場を鳥取商工会議所に変更し11月16日（月）～12月3日（木）入賞作品のみを展示することとなりました。

急な変更ではございますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

### <変更後展示会>

日 時：令和2年11月16日（月）～12月3日（木）  
平日の9時から17時まで（土・日・祝日は休）

会 場：鳥取商工会議所 1階 ロビー （住所：鳥取市本町3-201）

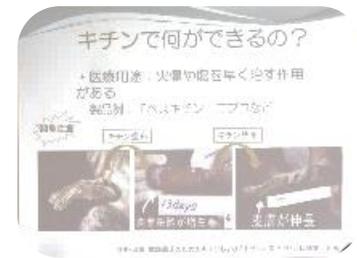
## 企業連携出前授業 第12回

- ◆ 日 時 令和2年9月9日（水）・10日（木）  
9:50～10:35 11:40～12:25 2日間合計4コマ
- ◆ 企 業 甲陽ケミカル(株)
- ◆ 講 師 黒住 誠司 様・権代 英之 様・清瀬 正敏 様  
泉 良太郎 様・野口 貴子 様
- ◆ 学 校 米子市立東山中学校
- ◆ 対 象 3年生 4クラス 138名
- ◆ 内 容 「健康で快適な生活」をサポートする素材  
(キチン・キトサン)



甲陽ケミカル(株)  
泉さん 権代さん 黒住さん 清瀬さん 野口さん

「鳥取県の日本一と言えど？」「カニ（紅ズワイガニ）の水揚げ量です！」「では廃棄物のカニ殻はどうしている？」という、質疑応答から授業が始まりました。カニ殻はキチン・キトサン・グルコサミンという健康食品の原料となっており、生産量日本一は、甲陽ケミカル(株)がある鳥取県境港市である、ということを知りました。実験ではビーカー内の泥水・油脂にキトサンを加えると、凝集分離し沈殿することがわかりました。それは、体内にキトサンを取り込むと大腸内で不溶物・油脂類を凝集させ排泄させる効果があると言える事がわかりました。一方、工業的には、微量なキトサンを工場から排出される廃液に混ぜることにより凝集沈殿させることができ、上澄みの液のみを廃液として排出すればよく、環境改善に非常にやさしい・効果的物質であることを知りました。最後に発明協会から、廃棄物のカニ殻から有効なキチン・キトサン・グルコサミンに変える技術は、「発明楽」（注1）の、割り算（逆転の発想）で見出されたものと説明をさせていただきました。



(アンケートは集計が終わり次第掲載いたします)

(注1: 「発明楽」とは発明を生み出す4つの発想スキル +、-、×、÷)

## 企業連携出前授業 第13回

- ◆ 日 時 令和2年9月17日（木）13：25～14：10 1コマ
- ◆ 企 業 （有）米村木工
- ◆ 講 師 柏 健 様・平尾 祐太 様
- ◆ 学 校 鳥取市立宝木小学校
- ◆ 対 象 4-6年生 30名
- ◆ 内 容 最新技術で作るけん玉



(有)米村木工  
柏さん

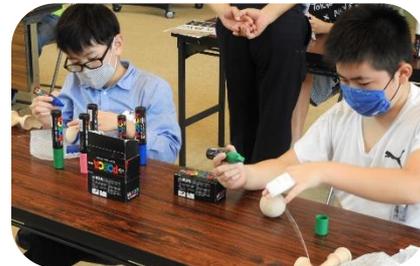


平尾さん

グラウンドゴルフのボール作りで培った木材の精密加工技術を利用して、世界的にブームとなっていたけん玉作りに挑戦したこと、その販売に苦戦しながらも販売方法を工夫して売り上げを伸ばしてこれた事などのお話につき、けん玉がどのような工程で作製されるかを動画などを見て学びました。さらに、最新のレーザー加工技術や微細色付技術を使って、様々な色や模様が付けられたけん玉の実物を間近で見て、微細加工のすごさを実感しました。その後、児童一人一人に用意された、無地のけん玉に各自が思い思いの色を塗って世界に1つしかないオリジナルのけん玉作りを行いました。そのオリジナルけん玉を使ってけん玉の実技体験を行いました。最後に発明協会より「発明楽」

（注1）と「発コンJr.」の案内をさせていただき授業を終えました。

後日、児童の皆さんから米村木工さんにお礼の寄せ書きを贈っていただき米村木工さんも大変喜んでくださいました。



### ★児童アンケートより★

- ・けん玉作りの工程が分かりました。けん玉の色ぬりもできて良かったです。
- ・四角い木から丸い木になることにびっくりしました。けん玉に絵がかけて楽しかったです。
- ・すごいきかいでけん玉を作っていてびっくりしましたし、細かくできていてとてもすごいと思いました。
- ・グラウンドゴルフの道具やけん玉を作っている会社ということが分かりました。
- ・ニューヨークで展示会をするのはすごいと思いました。
- ・説明が分かりやすかったし、色をぬるのが楽しかったです。

（注1：「発明楽」とは発明を生み出す4つの発想スキル +、-、×、÷）

## 企業連携出前授業 第14回

- ◆ 日 時 令和2年9月23日（水）9：55～12：45 3コマ
- ◆ 企 業 (株)コロンブス
- ◆ 講 師 谷口 義昌 様・梅原 慎二 様
- ◆ 学 校 米子市立尚徳中学校
- ◆ 対 象 2年生 3クラス 83名
- ◆ 内 容 AIによる顔認証

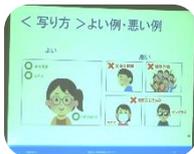


(株)コロンブス  
梅原さん 谷口さん

授業では、AI（人工知能）の基本的な仕組みを学んだ後、まずカメラ付きパソコンに、自分の名前と顔を登録しました。次に、顔認証システムを利用してカメラに写った時、写った人の名前が間違いなく記録されているかを確認しました。眼鏡やマスクの有無でも正確に認証している事に驚いた様子でした。

1人で写ったり、集団で写ったり、色々なパターンで顔認証システムを体験することができました。また、このままAIの技術が進むと、便利になる反面、現在「人」がしている仕事が「AI」に変わった場合、「人」の仕事が無くなってしまったりかもしれない、しかし、「AI」の技術を進めたり、どこでどうやって使っていくかを考えるのは「人」でないと出来ないという事も学習しました。

最後に、発明協会から「発明楽」（注1）の説明と「発コン」r.」についてPRをさせていただき、3クラス連続の授業を終えました。



### ★生徒アンケートより★

- ・顔認証の仕組みが分かりました。AIの技術は今後どんな進化をするのか気になります。
- ・AIにできない能力を身に付けなければいけない事が分かりました。
- ・「発明」という言葉のイメージが今日の授業で少し楽しそうなイメージに変わりました。
- ・発明のすごさや、+、-、×、÷の話で人の発想力がすごいと思いました。
- ・とても面白かった。顔認証の可能性にとってもわくわくした。
- ・説明だけでなく、実際に顔認証などの体験ができたので良かった。

(注1：「発明楽」とは発明を生み出す4つの発想スキル +、-、×、÷)

## 企業連携出前授業 第15回

- ◆ 日 時 令和2年9月25日（金）9：50～12：25 3コマ
- ◆ 企 業 (株)大上建築
- ◆ 講 師 大上 正雄 様・藤原 裕治 様
- ◆ 学 校 境港市立第三中学校
- ◆ 対 象 2年生 3クラス 78名
- ◆ 内 容 木造免震住宅って何？



(株)大上建築  
大上社長 藤原さん

住む地域の特性によって、例えば、雪が多い・暑い・草原に住むというように色々ですが、「家」をみればどういう特性の地域・生活の場であるかが一目でわかることを学びました。また、木造建築の特徴は、材料が自然植生の木である為に古くなれば朽ちやすく自然に戻りますが、管理を良くすれば永く使用できます。また、地球表面の皮ともいえるプレートが、日本周辺には複雑に重なりあうことによる地震発生の仕組みを知りました。昔の家は地表に石を置き、その上に木造の家を建てていた（置いていた）ので、地表の小さな揺れは直接木造の家には伝わらない構造（免震構造）となっていました。家を地震から守るには、「耐震」「制震」「免震」構造の家造りがあります。中でも「免震」構造の家は比較的費用が少なく、今注目されつつあります。(株)大上建築では、自由に設計されたどんな木造住宅でも免震構造とすることが可能となる技術を発明され、特許を取得されています。「発明楽」(注1)では、自由設計の木造免振住宅は、割り算（家は地表に固定するものという常識を覆す逆転の発想）の手法で見出されたものと説明をさせていただきました。



### ★生徒アンケートより★

- ・今日の授業で、仕事をする上で大切なことが沢山分かりました。
- ・あまり興味を持っていなかった建築の話もしっかり聞いて良かったです。
- ・建築は、それぞれの地域にあった家づくりが大切だと分かった。
- ・とても分かりやすく、将来にとっても役立つと思いました。
- ・+、-、×、÷で発明ができることに少し驚きました。
- ・新しいものだけでなく、今あるものを組み合わせたりすることも1つの発明なんだと思いました。

(注1：「発明楽」とは発明を生み出す4つの発想スキル +、-、×、÷)

## 企業連携出前授業 第16回

- ◆ 日 時 令和2年9月28日（月）10：30～12：00 1コマ
- ◆ 企 業 （株）アサヒメッキ
- ◆ 講 師 川見 和嘉 様
- ◆ 学 校 岩美町立岩美西小学校
- ◆ 対 象 6年生 1クラス 17名
- ◆ 内 容 ステンレスの発色

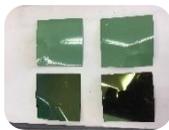


(株)アサヒメッキ  
川見さん

企業紹介では、日刊工業新聞に掲載された、(株)アサヒメッキ社長の木下氏と世界的建築家である隈 研吾氏との対談についてお話しをしていただきました。

その後座学へと進み、スライドを使った資料でメッキの特殊加工について説明を受けました。少し緊張気味に授業が進みましたが、途中のクイズから一気に雰囲気や和み、楽しい雰囲気で授業が進められました。

ステンレスが何故錆びにくいのか、メッキ処理工程の動画などでは先生も大変興味深く見ておられました。また、実験では塗装をしたステンレス板と発色処理したステンレス板において膜の強さ違いを落下試験などで実感することが出来ました。このようなメッキ加工について素晴らしい技術をもった企業が鳥取県にある事を知り驚いた様子でした。最後に発明協会より紙芝居を使って「発明楽」（注1）の説明をし、「発コンJr.」アイデア募集についても案内させていただきました。後日、担任の村上先生より「出前授業」の様子を掲載した学年だよりを送っていただきました。どうも有難うございました。



### ★児童アンケートより★

- ・楽しかったし、色々な事を知れてとても良い経験が出来ました。
- ・難しい授業だったけど、問題や実験があって楽しかった。
- ・ペンキをぬった板よりメッキの方ががんじょうでびっくりしました。
- ・油を水の中にたらすとにじ色に変わってとてもきれいでした。
- ・ナノメートルなど単位の大きさがこんなに小さいと思わなかったので、びっくりしました。

(注1：「発明楽」とは発明を生み出す4つの発想スキル +、-、×、÷)

## 知財 Q & A



Q1

テレワークの実施にあたって、従業員が、社外から当社サーバー上において電子データで管理している営業秘密にアクセスすることができる環境を整えました。このような場合であっても、営業秘密として保護されるのでしょうか。

A1

テレワークの実施にあたって、社外から会社サーバーへのアクセスを認めたとしても、直ちに営業秘密としての法的保護を失うわけではありません。

以下のポイントを押さえた管理を意識することで、万が一の場合でも、営業秘密として不正競争防止法による法的保護を受けられる可能性があります。

秘密管理性要件の趣旨は、「企業が秘密として管理しようとする対象（情報の範囲）が、従業員等に対して明確化されることによって、従業員等の予見可能性、ひいては経済活動の安定性を確保する」ことにあります。

したがって、例えば、アクセス権者を制限する、会社サーバーへアクセスする際にID・パスワードの入力を要求する、会社サーバー上のデータや当該データを格納するフォルダにアクセスする際に追加のID・パスワードの入力を要求する、当該データのファイル名や当該データ上に「秘」（マル秘）・「社内限り」等の秘密であることの表示を付すことによって、従業員の予見可能性を確保するといった方法が考えられます。

これらの措置の中には従前から取り組んでいるものもあるかと思いますが、改めて、営業秘密管理規程や情報管理規程、セキュリティ規程等の関連規定の内容を再確認（場合により見直し）するとともに、その実施状況の確認をすることが有用です。



テレワーク時における秘密情報管理のポイント（Q&A解説）（経済産業省知的財産政策室R2.5.7）より出典



## 鳥取県知的所有権センター担当者より

### フィルムカメラについて



(公財) 鳥取県産業振興機構  
経営支援部  
知的所有権センター

特許流通コーディネーター  
芦崎 幸弘

特許流通コーディネーターの芦崎です。

休日には気分転換にカメラを持って浦富海岸、鳥取砂丘、大山などに出掛けています。私が持ち歩くカメラは、一眼レフカメラ（フィルムカメラ）とポケットカメラ（デジタルカメラ）です。この一眼レフカメラは学生時代にアルバイトをして購入したO社の「OM-1」です。当初のカメラはまだ十分使用できるのですが、一部の部品が損傷していることもあり、現在は中古で購入した2台目です。（写真）

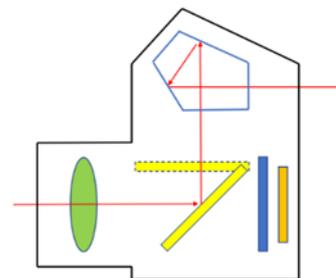


「OM-1」は昭和47年発売開始で、その時点で最軽量の一眼レフカメラであり、大学クラブ活動での冬山登山の荷物はできるだけ軽くという切実な事情で購入しました。

O社はハーフサイズカメラでは同業他社に先行していましたが、一眼レフでは後発でした。しかし、社内の開発要請により、当時の一眼レフカメラの技術的課題であった「大きい、重い、音が大きい」の三悪を解決して小型軽量化に成功したカメラです。

一眼レフカメラは、1個のレンズとフィルムの上にミラーがあり、実際に撮影される像をペンタプリズムを介してファインダーで確認しながら焦点合わせができるカメラです。

（図：一眼レフカメラの概要）



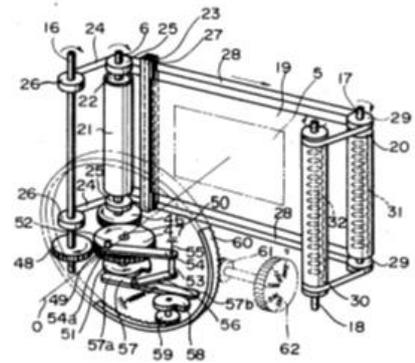
しかし、初期の一眼レフカメラには課題があり、参考文献には9項目が挙げられています。それらは、カール・ツァイス社（ドイツ）のペンタプリズム、レクタフレックス社（イタリア）のピント合わせ、旭光学工業（日本）のクイックリターンミラー、ズノー光学工業（日本）の自動絞りにより解決されましたが、「大きい、重い、音が大きい」は解決すべき課題として残されていました。

後発であっても、「社会的に存在価値のある一眼レフ」であり、「宇宙からバクテリアまで」というコンセプトの基で「大きい、重い、音が大きい」を解決するという目標を掲げたM氏（米谷美久：まいたによしひさ）とそのチームは、一度カメラの機能をすべて分解し、ユーザが必要に応じて必要なユニットを組み合わせるといった壮大な構想の「Mシステム」（米谷氏のM）の設計に着手しました。参考文献にはその組み合わせの一例が載っていますが、カメラというイメージではなく取手付きハンディムービーのようなイメージです。

しかしながら、一刻も早く市場に投入したいという会社からの要請があり、「Mシステム」の多くの組み合わせの中で最も普通のカメラに近いオールインワンの設計モデル「M-1」を選び、「Mシステム」の開発は継続するものの、生産体制は「M-1」を優先させるということになりました。これが後に我々が手にすることになる「OM-1」の原型です。

「小型軽量化」は、代表はシャッター調速部のカメラ下部への移設です。従来はシャッター速度を決める調速部はカメラの上部に配置されていましたが、シャッター機構を分割して多くの部品をそれまで有効活用されてなかったカメラ下部へ移設しました。これにより高さを小さくすることができました。これらの技術は「特開昭49-16417」、「特開昭49-16418」等に記載されています。

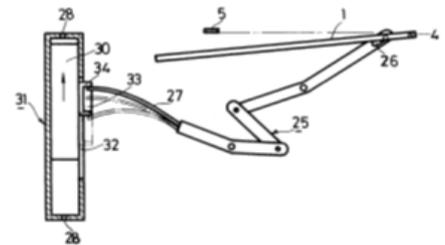
(図：カメラ下部のシャッター調速部)



「静音化」は、ミラーを小さくすることなく、ミラーの平面性を確保しながら極限まで薄く軽量にすることで、ミラー跳ね上げ停止時の衝撃力を小さくし、さらにエアダンパを設けることにより衝撃力を抑えています。これらの技術は「特開昭49-16416（特公昭52-35296）」に記載されています。

これは、M氏が子供の頃、生家の大掃除中に立て掛けてあった障子が畳に倒れるのを見たとき、最初は勢いよく倒れ始めたが、寸前で空気抵抗のために失速し、最後は音もなく着地したことを思い出してのアイデアです。

(図：ミラーの跳ね上げ動作、円筒がエアダンパ)



「操作性」は、シャッター調速部が下部に移設されたことで、シャッター速度の調整が交換レンズ取り付け部に配置した大径の調整リングで可能になり、カメラを右手で持ったまま、左手をレンズから離さず、「シャッター速度」、「絞り」、「焦点合わせ」の調整ができるようになりました。冬山登山等でも厚い防寒手袋を付けたままでカメラ操作が可能になり実際に有効性を実感できました。海外でも登山家や冒険家の高い評価を受けています。

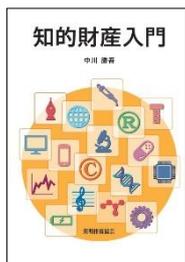
なお、この一眼レフカメラは当初「M-1」で発表されましたが、外国の「ライカM3」からクレームがあったということと、ローマ字1字と数字1字の組み合わせでは識別力がないということでO社の1文字を加えて「OM-1」としたことも紹介されています。

後発での研究開発は困難が多いと理解しますが、開発に明確な意義を見出し、基本に立ち返って研究を行い、現状が抱えている課題を地道に解決していくことで逆転できるということが示されている例として非常に印象に残っている製品です。

この一眼レフカメラは、デジタルの「OM-D」に引き継がれていますが、当時高価で買えなかった交換レンズ群が中古カメラ市場で手頃な価格で入手できることもあり、交換レンズを増やしながらかこのフィルムカメラを使い続けているという次第です。フィルム代や現像代は余計に掛かりますが、心地良いシャッター音が魅力ですので是非お試しください。

参考文献：「一眼レフ戦争とOMの挑戦」、米谷美久、朝日ソノラマ（2005年）

# 書籍のお知らせ（発明推進協会の本 2020.10）



## 知財人材をはぐくむために！ 知的財産入門

中川 勝吾 著  
A5判 168頁 定価1,320円/送料215円  
ISBN978-4-8271-1343-3

グローバル化した現代においては、知的財産は国内だけでなく、海外でも活用されています。また、知的財産は、あらゆる産業においても活用されています。それは、自己の技術やデザイン、ブランドを知的財産権として戦略的に取得し活用することで、市場における優位性を確保することができます。知的財産権を取得していない場合は、他者の知的財産権を侵害するリスクが生じたり、自社製品の模倣品を効果的に排除できないために利益が減少したり、訴訟などで労力や時間を費やさなければならぬことも考えられます。このように知的財産を戦略的に活用することで、リスクを最小限に抑えつつ、事業機会を拡大させることができるため知的財産の重要性が目まぐるしく注目されています。本書は、豊富な図やイラストを使い、知的財産とはどのようなものなのかを理解しやすくまとめています。

鳥取県発明協会 会員価格：1,056円



## 特許歴史研究家を自称する著者の渾身の一冊！ 防衛技術の守り方 （日本の秘密特許）

櫻井 孝 著  
A5判 340頁 定価3,300円/送料310円  
ISBN978-4-8271-1347-1

かつてわが国にも「秘密特許」制度はあったが、第二次世界大戦の敗戦を機に廃止されてしまう…。しかし現在、主要国の多くは国の安全保障の観点から何らかの秘密特許制度を有している。本制度のない日本は、世界から見ると極めてまれな存在である。

本書は、かつてわが国に存在した秘密特許制度や運用の歴史を紐解くとともに、1610件に上る秘密特許のリストを初めて公開する。今後わが国がこの制度を導入することになった場合に備え、その課題等を浮き彫りにする

鳥取県発明協会 会員価格：2,640円

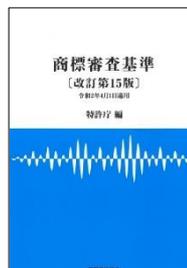


## 令和元年改正法の一部を掲載した知財法規集！ 令和元年改正 知的財産権法文集 令和2年4月1日施行版

発明推進協会 編  
A6判 1248頁 定価2,750円/送料310円  
ISBN978-4-8271-1341-9

本書は特許法をはじめとする知的財産権に関する法律全般に「特許法等の一部を改正する法律（令和元年法律第3号）」や「民法等の一部を改正する法律（平成29年法律第44号等）」などを反映したものです。令和2年4月1日に未施行の条文は施行されているものと区別するため点線で囲み、その情報を掲載しています。

鳥取県発明協会 会員価格：2,200円



## 新・審査基準！ 商標審査基準 改訂第15版

特許庁 編  
A5判 200頁 定価600円/送料310円  
ISBN978-4-8271-1339-6

商標審査基準改訂第15版は、産業構造審議会知的財産分科会商標制度小委員会商標審査基準ワーキンググループの検討を踏まえ、意見募集の結果を経て、令和2年4月4日以降の審査に適用されています。改訂点は次の通りです。①店舗の外観・内装に係る立体商標の事例の追加 ②立体商標の識別力の審査 ③立体商標における出願商標と使用商標との同一性判断、などです。新しいモノサシとなる商標審査基準をお求めください。

鳥取県発明協会 会員価格：480円

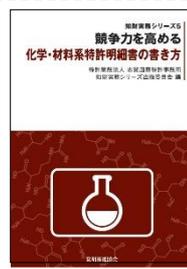


## バイオ・医薬系の特許明細書の書き方！ 競争力を高める バイオ医薬系 クレームドラフティング

特許業務法人志賀国際特許事務所  
知財実務シリーズ出版委員会 編  
A5判 232頁 定価1,650円/送料310円  
ISBN978-4-8271-1302-0

バイオテクノロジーは医薬、食糧、エネルギー、環境の各分野で今や欠くことができない技術となっています。特に生体分子が主体となりつつある医薬分野では、生命現象を解析し、これを大量生産するために、バイオテクノロジー技術は重要となっています。バイオテクノロジーや医薬の分野は、特許出願数が多くありませんが、それゆえ的確な知財戦略が必須となっています。本書には、バイオテクノロジーや医薬の特許出願のためのノウハウが満載です。

鳥取県発明協会 会員価格：1,320円



## 知財実務シリーズ5、化学・材料系分野出ました！ 競争力を高める 化学・材料系特許明細書の 書き方

特許業務法人志賀国際特許事務所  
知財実務シリーズ出版委員会 編  
A5判 440頁 定価4,400円/送料360円  
ISBN978-4-8271-1328-0

知財実務シリーズ5となる本書は、これまでのシリーズで解説されていた明細書の作成のみならず、化学分野固有の特許実務も考慮しています。各著者の経験に基づく解説を主とし、出願時や中間対応時における疑問について分かりやすくまとめています。

日頃から化学・材料系の発明を扱う実務家はもちろん、初めて化学・材料系の発明を扱う実務家にとっても大きなヒントとなる本書をお求めください。

鳥取県発明協会 会員価格：3,520円

鳥取県発明協会の会員様は  
発明推進協会発行の書籍が  
20%OFFになります。

【書籍申し込み・入会お問い合わせ】  
一般社団法人鳥取県発明協会  
☎ 0857-52-6728 E-Mail : hatsu@toriton.or.jp

# 鳥取県特許関係情報（令和2年9月）

## ◆特許公報目次・実用新案登録公報目次◆

出願人氏名	発明の名称	公報番号	出願番号	出願日
株式会社MASUDA	止水材、及び、止水工法	2020-152859	2019-054550	2019/3/22
株式会社ウィードメディカル	車椅子	2020-151243	2019-053364	2019/3/20
国立大学法人鳥取大学	シリルエーテル含有スルホン酸塩	2020-138917	2019-033856	2019/2/27
国立大学法人鳥取大学	糖鎖の製造方法、糖鎖合成用のビルディングブロックおよび化合物	2020-138931	2019-035709	2019/2/28
国立大学法人鳥取大学	吸着装置及び分析装置	2020-139912	2019-037742	2019/3/1
国立大学法人鳥取大学	腫瘍を誘導する変異型p53遺伝子	2020-145947	2019-044844	2019/3/12
国立大学法人鳥取大学	車椅子	2020-151243	2019-053364	2019/3/20
三洋テクノソリューションズ鳥取株式会社	無線機、路側通信機、通信パケットの送信方法、及びコンピュータプログラム	2020-145721	2020-087177	2020/5/19
大村塗料株式会社	熱交換器用伝熱部材およびその製造方法並びにこれを用いた熱交換器	2020-143793	2019-038158	2019/3/4
地方独立行政法人鳥取県産業技術センター	熱交換器用伝熱部材およびその製造方法並びにこれを用いた熱交換器	2020-143793	2019-038158	2019/3/4
地方独立行政法人鳥取県産業技術センター	車椅子	2020-151243	2019-053364	2019/3/20
株式会社MASUDA	外れ止め具付きフックが装着された張架・牽引材長さ調節装置	特-06753572	2016-144073	2016/7/22
株式会社大晃工業	視線誘導標および同期点滅システム	特-06754106	2015-244694	2015/12/16
株式会社徳永組	外れ止め具付きフックが装着された張架・牽引材長さ調節装置	特-06753572	2016-144073	2016/7/22
株式会社日本マイクロシステム	チャック装置	特-06756593	2016-232795	2016/11/30
公益財団法人鳥取県産業振興機構	外れ止め具付きフックが装着された張架・牽引材長さ調節装置	特-06753572	2016-144073	2016/7/22
国立大学法人鳥取大学	検査装置	特-06749003	2017-024033	2017/2/13
地方独立行政法人鳥取県産業技術センター	視線誘導標および同期点滅システム	特-06754106	2015-244694	2015/12/16
日本セラミック株式会社	パラメトリックスピーカ	特-06752427	2016-093542	2016/5/9
日本セラミック株式会社	超音波送受信器	特-06752429	2016-241951	2016/12/14

## ◆商標登録状況◆

商標権者	文字商標	登録番号	出願番号	指定商品又は指定役務
ヤマタホールディングス株式会社	Y、YAMATA	6278849	2019-38884	第19類 第35類 第36類 第37類 第39類 第41類 第42類 第43類 第44類 第45類
有限会社ひよこカンパニー	OOEVALLEY	6279806	2019-49994	第29類 第35類 第41類 第43類
三光株式会社	循工ネ	6279909	2019-120692	第35類 第39類 第40類
道谷 雅	VIRTUE&VICE	6280355	2019-157245	第18類
松井酒造合名会社	JAPANESECRAFTBEER、倉吉、THE NAME OF THE NEW WEST DISTILLERY、"KURAYOSHIDISTILLERY"、AN EWWINDOWOFBEER、JAPANAQUA-VITAE、MADE IN JAPAN、倉吉ビール、"KURAYOSHIDISTILLERY"、倉吉蒸溜所	6282873	2019-119478	第32類
株式会社マリンナノファイバー	カニダノミ	6283576	2019-74319	第3類 第5類
鳥取県（外1名）	アグチエル	6283965	2019-127080	第20類
藤原 毅芳	本業転換アトツギ経営塾	6285713	2019-124558	第9類 第16類 第35類 第41類
山陰化成工業株式会社	ECO、ROOF COVER、METHOD	6288373	2019-135060	第37類
松井酒造合名会社	JAPANESECRAFT、倉吉、THE NAME OF THE NEW WEST DISTILLERY、"KURAYOSHIDISTILLERY"、JAPANAQUA-VITAE、MADE IN JAPAN、倉吉発泡酒、"KURAYOSHIDISTILLERY"、倉吉蒸溜所	6290232	2019-120078	第32類
株式会社OKUPEN		6290960	2019-154833	第25類

※詳細は公報にてご確認ください。

# 一般社団法人鳥取県発明協会 会員募集中!!

鳥取県発明協会は発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度の普及などを通じて、これらに関係するいろいろなサービスを提供し、地域社会に貢献することを目的として活動しています。このような当協会の活動趣旨にご賛同いただける方々に、会員という形で協会の運営にご協力をお願いしています。

種別	年会費	対象期間	備考
団体(法人)会員	一口/15,000円	4/1～翌年3/31	一口以上(会員様特典あり)
個人会員	一口/6,000円	4/1～翌年3/31	一口以上(会員様特典あり)
協賛会員	一口/3,000円	4/1～翌年3/31	イベントの優先案内や参加費及び材料費の減免や免除特典あり

## 会員様特典(協賛会員は除く)

- ① 機関誌「知財とっとり」並びに「月報はつめい」・「News Letter」を毎月無料でお送りします。
- ② (一社)発明推進協会発行の刊行物等の値段が20%引きになります。
- ③ 「発明楽～はじめての発明楽」500円(税別)が20%引きになります。
- ④ 「つきいち検索サービス」ご希望のキーワード群(最大3群)を登録していただき、J-PlatPatを使用して検索した結果(リストのみ)を毎月無料送付します。(公報のプリントアウトは有料)詳細はお問い合わせください。
- ⑤ 当協会ホームページにバナー広告を掲載いたします。(希望される法人会員のみ)
- ⑥ (一社)発明推進協会の会員専用ホームページの閲覧ができます。

## 《お問合せ・お申込み先》 一般社団法人鳥取県発明協会

〒689-1112 鳥取県鳥取市若葉台南7丁目5番1号  
電話: 0857-52-6728 FAX: 0857-52-6674 E-mail: hatsu@toriton.or.jp



表紙の写真は、八頭郡八頭町の国道29号線沿いで見つけた彼岸花で、遠くに見えるのは賀茂神社の鳥居です。秋のお彼岸の頃に咲く真っ赤な彼岸花は別名「まんじゅしゃげ」とも言いますが、なぜか田畑のあぜ道沿いに咲いているのをよく見かけます・不思議ですね。。そこで調べてみると・湿地帯を好む植物であり、根が畔の土を固めてくれる。また、毒があるため、田を荒らすネズミやモグラなどの被害を防いでくれる・などなど、昔の人の知恵によって植えられた球根であるとわかり、びっくりでした。ちなみに、花言葉は「情熱」「悲しい思い出」「あきらめ」その他たくさん・・・。なんだか不思議な植物のように思われてきました。。